

“御祈祷鳥～語り継がれし鳥～”

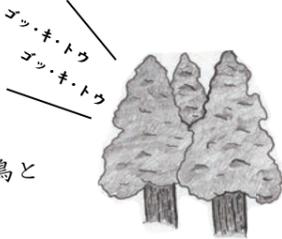


緑深まる5月半ばの日没後。「ゴッ・キ・トゥ ゴッ・キ・トゥ」。森の奥から聞き覚えのある声が聞こえてきた。「まさかっ?!」。偶然居合わせた住民と顔を見合わせる。希望が確信に変わり、2人で喜んだ。

声の主はコノハズク。フクロウの仲間で繁殖のため東南アジアから日本へやってくる。コノハズクの鳴き声は「仏法僧^{ぶつぼうそう} 仏法僧^{ぶつぼうそう}」と聞きなすのが一般的だが、神社がある御岳山では、「御祈祷^{ごきとう} 御祈祷^{ごきとう}」と聞きなす事から「御祈祷鳥」と呼ばれ、古くから親しまれてきた。山内育ちのお爺さんやお婆さんに聞いた所、「霧深い日には、昼間も鳴いていた」「神社の方から響く声が印象的だった」と言っていた。以前は、神社の杜は樹齢500年あまりの巨樹がうっそうと茂り貴重な棲家となっていたが、昭和41年の台風により数多くの巨樹が倒れた。それも影響したのか、以降それまで当たり前だったコノハズクの来訪は片手で数えられる程度になってしまった。

コノハズクの訪問に沸いた山内では、自宅から耳をすませる者、未だ声を聞いた事がない孫を連れて外で佇む者、それぞれが思いをはせながら懐かしの声を探す姿が見られた。しかし、残念な事に声が聞えたのはその日限りであった。

かつてのように声が聞えなくなった今でも、住民の記憶には当時の情景が鮮明に残り、御祈祷鳥と愛着を持って呼ぶ。そして、その声を知らない子ども達にも思い出と共に語り継がれている。



御岳山でちょい

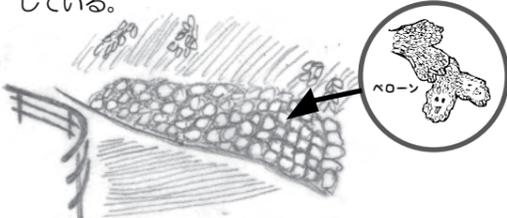
コケスポット～神社・集落編～



武蔵御嶽神社へ上がる道すがら、石垣のコケを観察してみませんか？ 普段見過ごしているコケたちも、近くで見ると驚くほど美しいのです！

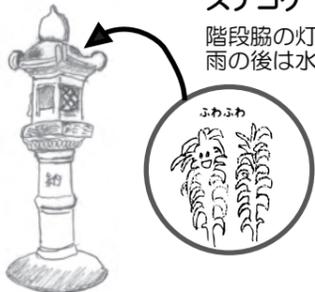
ジャゴケ（蛇苔）

ヘビのような模様で石垣をぐんぐん覆っていくコケ。カラカラに乾いて枯れてしまっても、ちゃんと次の芽がスタンバイしている。



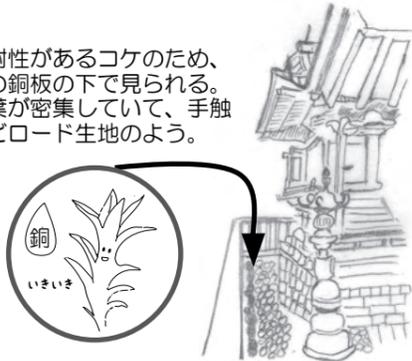
スナゴケ（砂苔）

階段脇の灯籠の上に付いている。雨の後は水を飲んでふわふわになる。



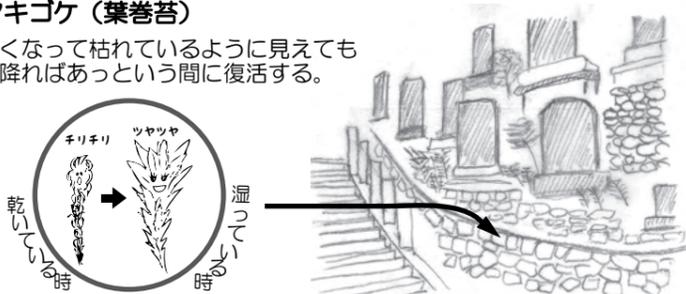
ホンモンジゴケ（本門寺苔）

銅に耐性があるコケのため、神社の銅板の下で見られる。細かい葉が密集していて、手触りはピロード生地のような。



ハマキゴケ（葉巻苔）

茶色くなって枯れているように見えても雨が降ればあっという間に復活する。



コケ観察おすすめアイテム

- ①ルーペ 20倍くらいが見やすい！
- ②ペンライト 暗い場所でもバッチリ！



御岳ビジターセンターが照らす……



人や動物、草や木、鳥たち
最近目にするようになったニホンジカも
この豊かな森の中で共に暮らしている
みんな、大切な命を宿し
今を懸命に生きようとしている



ニホンジカ

数年前から御岳山にお邪魔するようになりました新参者です。御岳山の生きもの達と仲良く暮らしていけると良いな。

制作・発行

御岳ビジターセンター

〒198-0175 東京都青梅市御岳山38-5
開館 (9:00~16:30) 休館 (月曜日 ※祝日の場合は翌日)
TEL 0428-78-9363 FAX 0428-78-9445
HP <http://mitakevc929.ec-net.jp/>

御岳山 ステリー

2015年秋

畑の大根、一口だけパクリ...

とある日のビジターセンター
「また、やられたよお!」と
集落の人が駆け込んできた
大切に育ててきた畑の大根が
次々にパクリと
しかも一口だけ
うーっ、くやしい!!



とある日、夜の御岳山どこからともなく、「ピーッ、ピーッ」
かん高く、闇夜に響き渡る謎の声。ムササビ? はたまたフクロウか?!
これだけではない。次々に巻き起こる不思議の数々...

2014年春

忽然と消えた...



うらかな春の富士峰園地
「あっ! ない!!」
カタクリの蕾がスパッと消える
そして夏の妖精、レンゲショウマの茎もスパッと
真剣振りかざす如く
どの切り口も鮮やかに...



2014年冬

木の皮、はがされる

明るい雑木林が広がる大塚山
よく見ると、周りの木の皮がツルリんと
きれいにはがされる
クマの仕業?
しかもリョウブの木ばかり
謎は深まるばかりだ



2015年冬

闇夜に謎の影

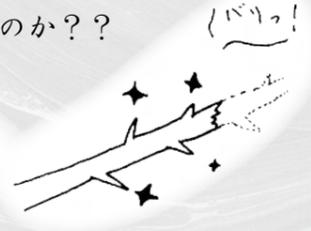
御岳集落の住民と愛犬ドリー
比較的、御岳山では大きな一人と一匹
夜風に誘われて長尾平を散歩していると...
ドドドッと数十頭、謎の群れが目の前に
かなりの迫力!
これは逃げるしかない!!



2014年初夏

トゲも毒も、おかまいなし!

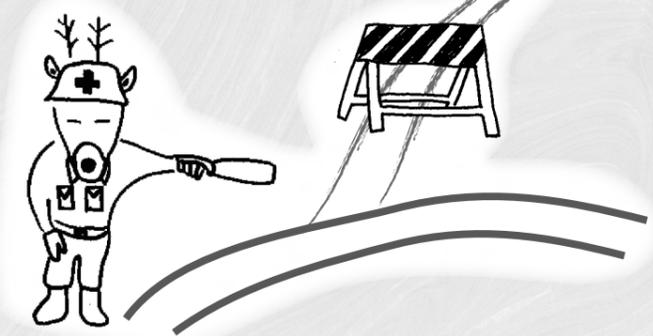
甘酸っぱさがたまらないモミジイチゴ
美味しい実を守るために茎はトゲトゲ
それでもお構いなしに茎をバリバリ食べるヤツがいる
さらに毒性が強いミヤマシキミもバリバリ
刺激物が好物なのか?
よほどお腹が空いているのか??



2015年春

謎の道、開通か?!

登山道から外れた所に突如現れた数々の道
道幅は狭く、わざわざ急な所に作られる
いったい誰が? なんのために?
そして、どこまで続くのか?



これまで御岳山で起きた不思議は、
どうやら、ある生き物によって
夜に起こっているらしい

謎を解き明かすために、
東京都レンジャー協力の元
自動撮影カメラを仕掛けてみた



はたして、生き物の正体は...?
答えは、紙面裏にある!
足跡を追え!!

